

山形の母なる川

vol.28

平成24年1月30日

# 最上川



## 倫理経営企業の素顔

第5回 山形市倫理法人会 柴田原料株式会社

写真は柴田社長とご子息の柴田専務

### 目次

鈴木隆一会長 挨拶……………2	青年委員会だより……………7	倫理経営講演会のお知らせ……………15
丸山敏雄創始者墓参の旅……………4	倫理経営企業の素顔(第5回)……………8	全国行事より……………16
桜井仁普及拡大委員長 挨拶……………6	単会トピックス……………12	編集後記……………16
女性委員会だより……………7	倫理を学んで……………13	



社団法人 倫理研究所  
**山形県倫理法人会**

平成24年

# 創始者の情熱を、未来へ！

山形県倫理法人会

会長 鈴木隆一

みなさまには新たな希望と決意を胸に新年をお迎えのことと拝察いたし、心からお慶び申し上げます。

## 大震災から学んだこと

さて、昨年はモーニングセミナーなどの機会に自衛隊や消防の方々から東日本大震災後の活動についてお話を聴きする機会がありました。

陸上自衛隊第20普通科連隊は宮城県北部に144日間出動し、500名を救出しました。また、緊急消防援助隊山形県隊は21日間で2名を救助、30名の遺体を発見。その間、津波による破壊のすさまじさに言葉を失い、悲惨な姿で発見されるご遺体にショックを受け、惨事ストレスと疲労、病氣、そして厳しい寒さ暑さと闘いながら使命を全うされました。

被災された倫理法人会の会員の方々からもお話をお聴きすることができ、その際みなさんの勇氣や忍耐、そして何よりその明朗さに強い感銘を受けました。励ます側が逆に大きな励ましをいただいたのでした。

みなさんは修羅場でなぜあれだけがんばれたのでしょうか？それは様々な絆があったか

らだと思えます。家族との絆、仲間との絆、ふるさととの絆。日本は絆で結ばれ、絆によって成り立っています。大震災によって日本人は絆を深く強く結び直すチャンスを得たのだと思います。

東日本大震災を契機に、私たちは「自他共に」幸せになることの大切さを心に刻み付けました。その方法を私たちは知っています。それは純粋倫理の学習と実践に励むことです。倫理を学び実践し、日本人の心を立て直す。それが日本創生であり、倫理法人会の存在意義であると大震災から学びました。

## 平成23年、数多くの成果

さて、昨年の山形県倫理法人会を振り返れば、①モーニングセミナーや役員朝礼等の充実による各単位倫理法人会の着実な発展、②9月、山形市中央倫理法人会の設立、③10月、山形県倫理法人会設立20周年記念式典と1500社達成祝賀会の開催などが真っ先に思い出されます。これらの成果は日本創生へ向かう確かな前進の証です。

今、この堅実な山形県の歩みが他県の倫理法人会の方々から注目され、全国レベルの会議で事例発表を行ったり役員会に他県から見

学者が訪れたりしています。山形県はいつの間にか他県に先駆ける位置に立っている、と昨年気づきました。このすばらしい成果は、偏に山形県倫理法人会のみなさまの、長年にわたる地道な活動の賜物と、心から敬意を表し感謝申し上げます。

## 創始者生誕120周年を迎えて

さて今年、平成24年は倫理運動の創始者、丸山敏雄先生のご生誕から120周年の節目の年です。山形県倫理法人会では昨年11月28・29日に有志が参加して「創始者丸山敏雄墓参の旅」を実施、創始者の遺徳を偲び、その業績を胸に刻んでまいりました。

初日は倫理文化センター（本部）で、丸山敏雄の生涯のあゆみを約30分にまとめた映像を観賞し、戦前創始者が真理探求に注いだ情熱に感動、また戦後日本人の心の復興に注いだ情熱に感銘を受けました。

翌日は多摩霊園で墓参をしました。広大な墓苑には晩秋の景色が広がり、創始者は静けさに包まれて眠っておられました。その時ふと、あの情熱はどこへ行ったのか？と思えました。情熱あふれる人生と死後の静寂の対比があまりに鮮やかだったからでしょう。あの

熱い思いは死と共に消えうせたのだろうか？いや、そうであってはならない。丸山敏雄の情熱を私たちが受け継ごう、次の歴史を私たちが創ろう。静かな心でそう決意し、広い空を見上げました。

### 私の願い、私の決意

そのような決意をした後に私が願うことは、もっと純粹倫理を学ぼう、もっと学んで自分の思いを深め、志を高めようということ。そして、家庭や会社でもっと倫理を



倫理文化センター(本部)での記念撮影

践し、その結果を人に伝えようと思います。

私は日常の小さなことから始めます。まず、「明るく」です。あいさつを明るく。そして、先のことを心配したり結果を予想して憂えたりせず、希望をもって行動します。

第二に、「仲よく」です。チームワークを良くし、みんなの力がうまく発揮できる環境をつくり、外部との連携を強化します。良い関係を創ります。

第三には、「喜んで」です。喜んで働く、喜んで学ぶ。そのために朝の達人になります。すばやく行動し、早く手を打ちます。

これらを毎日毎朝実践します。そしてこの結果をまわりに伝えます。みなさんの励みになりたいと思うからです。倫理法人会の良さは倫理をみんなできいっしょに学び、実践し、その結果を共に発表し合うことができる点です。いっしょに行うからすばらしい。みんなできいっしょに明朗・愛和・喜働を実践し、伝え合います。

### 『倫理総実践量』を指標に

ブータン国王が提唱したGNH(国民総幸福量)という価値観は、GNPやGDPという経済指標を国の発展の尺度にしてきた私たちに、新鮮な驚きと反省をもたらしました。それなら今、倫理法人会は何を持って発展の尺度とすべきでしょうか？

私たちの倫理運動は、自分自身の倫理の実

践により、自他共に幸せになることから始まります。そしてより多くの人々が純粹倫理をより多く実践することで、その人々も幸せになるでしょう。ですから、倫理実践の質と量と人数を掛け合わせた総量が倫理法人会の発展を表わす指標となりうるのではないのでしょうか？「倫理総実践量」とでも言うべき指標(尺度)です。

そこで各地の倫理法人会は、会員が純粹倫理をどう実践しているかその把握に努め、会員が倫理をもっと学び、もっと実践したくなるような活動を展開してほしいと思います。その目的に沿って毎月・毎週の数値目標を決め、その達成のためPDCA(プラン・計画、ドゥ・実行、チェック・見直し、アクション・改善実行)のサイクルを回し、その実績と次の目標を明示します。

### 目標とのギャップは宝物

今までは目標と現実のギャップは苦しみだったかもしれません。しかし、これからは目標とのギャップは宝物になります。そのギャップが私たちのやりがい、働きがいとなるからです。

平成24年、みなさまが希望の明日を切り拓く年となるよう願い、まめで達者に益々活躍されますよう心から祈念申し上げ、結びいたします。

# 丸山敏雄創始者 墓参の旅

去る11月28日からの2日間、県研修委員会の新事業として「丸山敏雄創始者墓参の旅」を初めて企画、実施しました。墓参のみの方も含めて28名と、師走近くの時期にもかかわらず、多くのご参加をいただき、心より感謝申し上げます。

この事業のメインは文字通り丸山敏雄創始者の墓参ですが、この他に倫理研究所本部（倫理文化センター）への訪問、見学も行いました。倫理を少しでも深く知り、考えるきっかけになったものと感じています。

当日は朝7時、さかたセントラルホテルをバスで出発、県合同事務局で内陸地区の会員と合流、初日の目的地、倫理研究所本部を指しました。行きの車中では、6月に行われた酒田市倫理法人会倫理経営講演会での丸山敏秋理事長の講演を改めて聴講し、本部での研修、見学に心躍らせました。

予定通り午後3時には東京三崎町の倫理研究所本部に到着。鈴木隆一会長をはじめ、山形県倫理法人会のメンバーが喜びの表情、満面の笑顔で入館しました。荒木北海道東北方面長、松本副方面長に



丸山敏雄創始者のお墓



山形県倫理法人会  
研修委員長 國分浩実

出迎えていただき、早速館内の見学をしました。

各フロア、部署ごとに対応していただき、本部職員の皆さんが普段どのように仕事をされているのか、職場の教養をどの部署で作成されているのか等、興味があつた部分も説明していただきました。丸山敏秋理事長は所用で不在でしたが、法人局へ伺った際は、中西本部長にお会いでき、一言いただく事もできました。その後、図書室にも行かせていただきましたが、多くの蔵書に全員興味深々で、少し時間を取って見学させてもらいました。

個人的には職場の教養が第1号から保管されており、継続の中にも変化を取り入れ、その時代背景も大切にされていると感じました。

全体の見学を通して感銘したことは、見学で伺った先々で、仕事中に伺ったにもかかわらず全員が起立され大きな拍手で大歓迎を受けたことです。自分の会社にも大切なお客様がお見えになることは多々ありますが、そこまでの歓迎はできていません。本部全体、全職員が私たち会員をとっても大切に感じていただいている表れだと思います。

見学の後は講堂での研修です。翌日の墓参の前に丸山敏雄創始者の生い立ち、倫理運動のきっかけとなった出来事を知るため、これらをまとめたVTRでビデオ研修を行いました。VTRの内容は、丸山敏雄伝第二章を凝



滝口長太郎氏の墓参



創始者のお墓の前で記念撮影

縮させたもので、改めて創始者の生涯を知ることができ、墓参を前に気持ちを整える効果もありました。

研修も終り本部を出る時も、多くの職員の皆さまが外まで見送りに出てこられ、感謝の気持ちで一杯になるとともに、清々しい気持ちになりました。この後は吉祥寺のホテルへ向い、本部研修、見学の話で盛り上がりながら懇親を深めました。

明けて29日、朝6時に集合し、徒歩で武蔵野市倫理法人会MS会場へ向いました。大勢で伺ったにもかかわらず、小野弘幸会長はじめ、役員の皆さまに暖かく出迎えていただきました。萩本功相談役は、タレントの萩本欽一さんのお兄様とのこと。年令を感じさせない、ユーモアとセンスで緊張感をほぐしていただきました。その後、松本和子法人局参事の講話を拝聴、食事会と和やかな中で時間を過しました。

いよいよ多摩霊園での墓参です。くもりの天気ではありませんでしたが上々の墓参日和です。場所を探すのに手間取りましたが無事到着。広大な霊園の中にあつてひと際目立つ大きな墓石でした。献花台には常にいっぱいの花が供えてあり、私たちも準備していましたがやっと献花できるスペースを見つけた感じです。丸山敏雄創始者がいかに会員に愛されているか、敬意をいただいているかの表れだと思えました。同墓地内に物故会員の銘板もあり、これもまた理事長をはじめ倫理研究所として会員を大事に思ってくださっている証だと思えました。

今に生きる丸山敏雄創始者が残した言葉を一つ二つと思いつき改めて心に刻み、自分に関わる全ての人々の幸福を祈りました。この墓参をきっかけに富士研セミナーに参加してみたいと思っただ方もいるのではないのでしょうか。富士研でのセミナーは丸山敏雄創始者が行ってきた事、感じた事を少しでも体感できると思います。

この後、滝口長太郎氏の墓参に行きましたが、度重なる渋滞で時間が読めず、駆足での参拝となっていました。楽しみにされていたと思いますが、反省点とし次回の課題といたします。

不案内な点多々ありましたが、多くの参加者から喜びの声を頂戴したことに心より感謝を申し上げます。



大歓迎を受けた倫理文化センター



武蔵野市倫理法人会モーニングセミナー



職場の教養 創刊号

# 退会防止活動 について



山形県倫理法人会  
普及拡大委員長

桜井 仁

普及目標達成の為の対策として、退会防止活動の強化を今年の山形県の方針として大きく掲げ、会員の方々に活動を促しているところです。特に年度初めの9～11月の3ヶ月間の退会が例年顕著な為に「退会防止会議」を開催し、注意を喚起致しましたが、初めての試みでも有り、準備及び時間不足の要因もあり、退会者を例年の3分の1にする目論見は不発となりました。深く反省しております。

退会防止対策は各単会の事情や環境により多少の差異は生ずるものと思えますが、基本的には正しい普及拡大に努める事が肝腎だと思います。

ややもすると数字をクリアする事に執着するあまり、中味の伴わない普及を執行してしまふと、たちまちその反動が起こり、逆効果になる事は幾度となく体験して参りました。しかし現実的にその問題に悩まれている単会

が多く見受けられ活動の改善が求められますが、中々抜け切れないところが苦しい事情かと思えます。特に中ぶらりんの会員の方には丁寧な対応が求められ、いずれは1度、地に足をつけてもらって判断をいただく事も必要不可欠な対策かと思えます。

各種の会議で退会防止についてのノウハウは数多く取り上げられますが、それを踏まえて行動計画を立案し組織的に動き、更に有効かどうかを検証する事が実践であり、認識止まりと実践する事では雲泥の差があるの言うに及ばず、私共の学びの基本とするところ

です。

その中でもモーニングセミナーの活性化は退会防止と大きく関連する事は周知でありますが、MSの活性化自体も大いに論じなければならぬ課題であります。しかも各委員会とリンクするとなれば、やはり退会防止は普及拡大の一環ではなく、単会会長を柱とした組織をつくり、各委員会が機能するように組織的に活動する事が肝要であり、今後の組織拡大には不可欠である事を重く受け止める必要があると思えます。

退会防止には事後対策も重要であり、退会の申し出が有れば当該会員に連絡、或いは赴いて翻意を促す事になります。出来るだけ迅速に、そしてスポンサー会員など関わりのある方と、複数で交渉する事が有効かと思えます。努力のいかなく残念な結果になったと

しても、きちんと話し合いをして、次の機会を期待する旨と、今後の会の運営に悪い印象を与えないような後始末をきちんとする事が私共の責務でもあります。

従来の拡大はどちらかと言うと新会員勧誘に主力をおいて来ましたが、新入会を断られたショックと、退会を通知された時のそれは比べようもないくらい、後者の方が心の臓に突き刺さります。

特に少人口地域での設立単会は、新会員の入会が飽和状態になりつつある状況で、退会による会員減少は大きな痛手となり、単会の運営に大きくのし掛かってきます。

新年に入りますと1月11日(水)に第3回退会防止会議が開催されます。中村恒一スーパードバイザーによる講義とブロック制のワークショップという内容になりますが、出来るだけ大勢の役員の方のご参加をいただき有効な90分になる事をご期待致します。

退会防止活動は従来から主要な対策である事はうすうす認識しておりましたが、今回のように重要課題として提起された事をチャンスと捉え、有効な対策を立案する為に十分に協議して、行動計画を作成し、共々実践して参りたいと思えます。

普及拡大と退会防止の両面から丁寧な根気強く、そして楽しく活動すれば目標達成の原動力となり、会の活性化に繋がる事は明白です。

女性委員会だより

## 「知事のほのぼのの訪問」

米沢市倫理法人会 女性委員長 吾妻栄子

1月17日、午後2時きっちり、グリーン  
のジャケットを着た知事が事務所の会議室に  
お着きになると、ワーツという歓声と拍手が  
自然と湧き起こりました。皆嬉しくてわくわ  
くしていたからです。

時間が30分だけと限られていましたので、  
すぐに菅野委員長から倫理法人会の内容を、  
分かりやすく説明していただきました。その  
後、MSを見たいという知事からの希望で  
十七カ条の朗読と、輪読をやりました。



知事からは、  
「早朝より、社  
会参画に頑張っ  
ていることに敬  
意を払うととも  
に、人間性を磨  
く活動をしてい  
ることは素晴ら  
しいことであ  
る。現代社会に  
足りなくなっ  
ているものを学  
び、それを次の  
世代にも引き継

ぐためにこれからもぜひ頑張っていたくださ  
い」との感想をいただきました。楽しいひと  
時でした。

青年委員会だより

## ワークショップ講演会

山形県倫理法人会 青年委員長 池田知之

平成23年12月14日(水)、米沢市伝国の杜  
を会場として、青年委員会置賜ブロックワ  
ークショップ講演会を開催しました。30名を超  
える参加者の皆様には大変感謝申し上げます。  
講師は(株)アイティーエス代表取締役 宇  
野寛氏です。今年度は青年委員会の新たな  
チャレンジとして、各ブロック主催の講演会  
を実施する計画を立てています。その第一弾  
として置賜ブロックの仲間が中心となりス  
タートしました。「実践!!利益が見える戦略  
MQ会計」と題してのワークショップ講演会  
は、我々若い世代にはまだまだ必要な会計の  
知識を通して、実務の現場から倫理活動を学  
ぼうという目的で企画されたものです。宇野  
氏は、「数字には力がありますが、社長だけ  
が分かっているも不十分なのです」と言いま  
す。さらに、「社長も間違った数字から誤っ  
た戦略を展開している場合もあるのです」と  
付け加えます。この答えはワークショップ講  
演会の中で出された例題から実感させられる  
ものですが、公認会計士ですら利益率の計算



を思い込みで掴  
んでいる場合が  
少なくないよう  
です。そして、  
「会計・利益の  
構造は誰でも分  
かるのが大切」  
と力強くおっ  
しゃいます。こ  
れは経営者と従  
業員の皆さんと  
の相互理解の土  
台となることを  
狙ったものなの  
です。理論だけでなく、実際にかかわった企  
業での実例を挙げ、いかに分かりやすく素早  
く全社員で取り組む仕組みを行っているの  
か、解説を交えて学ぶことができました。参  
加した皆様からは「経営者、従業員すべてが  
MQを理解できる事で会社全体の戦略経営  
ができる事が学びになった」「安易な値引き  
はマズイ」「自分の考え方が180度変わっ  
た、それがゆえにかなり難しかった」といっ  
た感想をいただき、皆様がそれぞれの気づ  
き・発見をお土産として手にされたかと想像  
します。今後も若い世代の仲間と勉強し合え  
る企画を継続してまいります。青年委員会  
と一緒に活動できる楽しく心強い仲間感謝で  
す!

# 倫理経営企業の素顔

## 第5回

### 山形市倫理法人会

#### 柴田原料株式会社

山形市倫理法人会、柴田津與志会長の会社、柴田原料株式会社様を訪問いたしました。同社は製菓、製パン、冷菓、レストランや喫茶用材料、食品包装資材、製菓・製パン用機械、厨房、業務用食品器具等の販売をされています。平成21年の5月に社屋を松菜に新築移転。間もなく3年目を迎えようとする社屋は白を基調にしており、とても清潔感と清々しさにあふれていました。

#### ◆練習と反省会のある朝礼

7時45分。朝礼の練習が開始されました。足元を全員が一直線に揃えているか、セブンアクトのカードと職場の教養を持つ手は左手になっているか、職場の教養の感想を聞く時に降した手は右手を上にするかなどを進行係が周知、徹底していました。その後、挨拶の練習を3つの班に別かれて行い、最後に全員で行っていました。

「姿勢を正してぐだわろ」という進行の凛と



した声で朝礼スタート。朝の挨拶、会社のスローガン斉唱、セブンアクト斉唱と続きました。皆が心を揃えてひとまとまりになるようにする意志がとても伝わってきます。数名の方が入れ替わりで行った連絡事項は「お願いします！」という一声で全員の注意を喚起してから要点のみを簡潔に伝えており、快い緊張感の中スピーディに進行していきました。

職場の教養を輪読した後に挨拶リーダーから「社長の年末年始の時のお話の中にもありました、縁があった24人が柴田原料という同じ船で今こうして働いています。何かひとつでもずれていたら出会うこともなかったか



もしれません。この縁を大切にお互い協力し合い、感謝の心、思いやりの心などを忘れずに日々の仕事に取り組んでいきたいです。今日の心がけ「自分に関わる人々に感謝しましょう」と大変素晴らしい感想が発表されました。朝礼自体が正しくこの感想そのものを表していました。朝礼を終えて進行係が「本の持ち方が揃っていません」と反省点を指摘。毎回こうした事前練習と振り返りを行うことは朝礼のレベルアップにとっても役に立つと思います。朝礼を見学した後、柴田会長にいろいろなお話をお聞きしました。

#### ◆朝礼コンテストが朝礼を変えた

実は、今の形の朝礼になったのは最近なんです。昨年の朝礼コンテストに、山形市倫理



法人会の代表として当社から3名が参加し、最終的に2名が出場いたしました。朝礼コンテストには県内11単会の代表が出てきましたから、それぞれがものすごい朝礼なわけですね。また、コンテストに向けて山形市も朝礼の特訓を行ったわけですが、マルナカ中村商店の鈴木さんによる猛特訓の下、当社の社員も他社の方と一緒に揉まれに揉まれました。すると、朝礼をこういう風に行っている企業がある、社員の意志を統一するための朝礼のやり方がある等々段々解ってきたのでしょうか。彼らが当社の自己流朝礼を見直したいと言い出した。それから始まったのです。そういう意味では活力朝礼コンテストは、うちの会社にとって非常にありがたい、素晴らしい事業でした。



#### ◆週末は車の清掃点検

綺麗な車で運転しましょうと、週の末日に車両の内側及び外側の清掃と点検を行っていただきます。これを始める前は、自損事故などが多かったのですが、やり始めたら事故が激減しました。この2年間で発生した事故は、当社の敷地内で起こした事故の1件だけです。なぜ綺麗な車を運転していると事故にならないのか？綺麗な車を運転するという事は非常に気持ちが良い。汚い車を運転して仕事をするのでは気持ちが全然違います。また、車を一生懸命磨いて綺麗にすること自体にも、もやもやした気持ちのわだかまりを一扫してくれる効果があります。そのことが結局は無事故に結びついていると思います。

#### ◆お客さまは商品の扱い方を見ている

食品を販売している会社に行ってみると「この会社は清掃が行きとどいていないね。この会社で小分けしている商品の衛生面はどうなんだろう？」とかね。こういうのは良くあるんですよ。扱っている物が口に入るものだけに、社内を清潔に保つことがとても大切なのに。

当社は、お客さまに会社に来ていただく機会が多くあります。そしてお客さまと一緒に実際に作ってみます。こういう材料とこうい

う材料をこのように組み合わせると、こんな形で何分間くらい焼成するとこういう製品が出来あがりますと、来ていただいたお客さまと一緒に勉強しながら、商品材料を販売しています。

このような形の商売をやっていますから、大変多くのお客さまが来られます。お客さまは、会社を見て、勉強会の会場に行つて、倉庫も見て、当社で商品がどういふ風に扱われ





ているかを評価してください。そういうところを整理・整頓、そして清潔にしておくことが非常に大切だと考えています。

#### ◆清掃について

ですから、清掃はきちっとするようにしています。1番早く会社に来るのは専務です。専務と私と社員2人が7時には来て掃除をしています。社員の大部分も8時前に来て掃除を始めています。

クリーン委員会というのがありまして、そこが計画を立てて、例えば事務所内の窓を一斉にやりましょうとかね。芝生や植木もクリーン委員会が中心になって手入れなどしています。団地は月1回清掃日が決まっています。冬場は無理ですが、前の歩道清掃と

か、雑草を取ったりとかを行っています。あとは各事業所から1人ずつ出して、公園などの共用施設や道路のゴミ拾いを年2回行っています。今は雪だからよく判りませんが、この団地は結構きれいなんですよ。

#### ◆今年は早めにガンガン!!

山形市の会長職は今年度が3年目。この3年というのは長いですね。任期は1年だから、1年で交代しても良いわけです。最長3年を限度にすると役員必携に書いてありますが、良いことだと思えます。会長職はできたら1年か2年で代わった方が良いでしょう。倫理法人会には代わる人がたくさんいるわけですから。

倫理法人会は人財が豊富だとよく言われます。確かにそういう方々が来ています。会長は誰がやったってできますよ。ですからどんな代われれば良いんです。そして新たな気持ちで1〜2年間やる。そうすると皆が一生懸命になるんです。

1月6日から倫理経営インストラクター会がありました。私を含め、山形県から5名が参加いたしました。参加してこれをやろうと決めたこと。山形市の今年度の目標社数は175社ですが、それを5月31日までに完全に達成します。早い時期に1つでも達成すると皆がさらに達成するぞと後に続く気持ちに

なるじゃないですか。私はあまり表に出てガンガン言うタイプではないのですが、今年初めてそういう気持ちになりました。

#### ◆まだまだ自分に学びが必要と実感

山形市倫理法人会のお役は今年の8月で終わりになります。しかし、倫理の勉強はやり続けることである結果が出てくるわけですから、ずっと続けてまいります。

例えば倫理法人会のバックアップをしなくてはならないことがあれば、一生懸命その会に携わっていきます。ただ、先ほども申し上げたように倫理法人会の人財というのは非常に豊富です。是非若い方が表に立ってどんどん活躍していけるべきです。それを私共のようなある程度役職を経験した者がバックアップをしていく。会長を辞めた後にそのようなバックアップの領域でお役に立つことはずっとしていきたいです。

また、そういうことを積み重ねていくと、自分も変わってくるのではないのでしょうか。私は常にわがままが出てくるダメなタイプですからまだまだ勉強していかないと。普及活動で入会をけんもほろろに断られたりするとムツとしてしまいます。もちろんこれはわがまま。ムツとすること自体がダメ。けんもほろろが当たり前なんです。それを当たり前として受け止められるようになると一人前なの

ですが、それがやっぱりダメ。鎧をキチッと着て「何で私の言うことがわからないんだ」みたいなことになってしまふ。うちの会社でも全く同じです。私は今までトップダウン的な考えが強くて「なんで私の言うことを聞かないんだ」ということになる。そうすると態度に出てしまいます。その極みは頭ごなしに怒鳴る行為です。もちろんそれではいけないと頭の中では解っていることです。解っているけどなかなかできない。ムツとしたり、怒鳴ったり、まだまだそういう場面がある。倫理を勉強し続けていく中で、そんなわがままを1つ、2つと取り去っていくことが必要だと思います。

#### ◆社員の家族にまで倫理を拡げたい

今年度の売上や粗利益をこうしましょう、営業的にはこのような形で今年度はやりましょう。これらは現実的な問題として目標に向かつてきちっとやっています。では、それを実現をする根底は何かと言えば、これは私たち社長以下24人そのものです。そのためには皆が1つの気持ちにならないといけない。1人でもはずれていようがない人と、これがなかなか達成できません。

さらに、私たちを送り出してくれる家族の協力があって初めてその目標が達成できるものです。そうすると一番大切なのは家庭。家

庭が楽しく、うまくいってれば、憂いなく会社に来て、それこそ元氣良く明るく一生懸命仕事ができる。

でも、社員もいろいろです。ですから、家族の協力を得るために、倫理を社員の家族まで拡げたい。社長から社員や社長の家族へ、社員から社員の家族へと倫理が浸透していけば、そのことがわが社の目標達成のための根本になると私は思っています。また、そういう企業が増えていけば、裾野が拡がって「日本創生」に必ず結びついていきます。

#### ◆今が日本が変わる大チャンス

3・11「東日本大震災」に対しては、これからは末長い支援活動が不可欠と考えます。しかし、この震災によって、日本が非常におかしい流れだったのを、ガツンと打ちのめされたような感じでした。それで日本人は隣近所の繋がりがいかにかに大切なのか解った。あの震災を経験して、日本は変わらなくてはと若い人からお年寄りまで思うようになって。そして日本は徐々に変わっていくように思います。これは倫理にとって素晴らしいチャンスです。倫理が一気に広まっていけば日本は必ず変わる。ですからこれを機に1社でも2社でも会員企業を増やしていくことです。

#### ◆山形に倫理を、実践する企業を増やそう！

最後に、これはよく話題になるのですが、倫理を勉強したら業績が上向きますか？という問いについて。倫理の実践ができてくると会社は良い方向に向かっていきます。そのため、これは昔のことですが、倫理を同業者には教えたくないようなことが言われました。それだけ倫理実践をきっちり行っていくと良くなっています。ですから倫理を実践する企業を1社でも多く増やしていきたい。そうすれば山形の未来が相当違ってくると思います。



# 単会トピックス



米沢市倫理法人会

研修委員長 中村恵一

## 三条南倫理法人会のMSに参加して

三条南倫理法人会は会員数143名(2011年9月現在)、MSの平均出席者人数が150名を超える単会として、以前から興味はあったものの、MSに参加できるとは思っていませんでした。



ところが、この度米沢市、長井市、南陽市倫理法人会の合同セミナーとしてご案内をいただき、またと無いチャンスを得ることができました。

一行13名は三條市内で楽しい前夜祭を過ごし、翌朝は整然とした役員朝礼と156名の気が漲るMS。会場は東証一部上場の(株)コロナさんの社員



食堂でした。

その後(株)コロナさんの一糸乱れぬ朝礼、そしてピカピカの工場見学、オマケに内田社長自らの楽しい商品説明まで聞かせていただき、すばらしい一日となりました。



山形市倫理法人会

広報委員長 岩見信弘

## 2011年、最後を締めくくるモーニングセミナー

講話者は、陸上自衛隊20連隊長 富田晃生氏です。



2011年3月11日、午後2時46分。東日本大震災が発生するとともに、先鋒を切って駆け付け、想像を絶する汚

泥と瓦礫の中、被災者の救助、支援に命がけで取り組んだ自衛隊員の150日にわたる活動の記録を、映像と写真を交えながらお話をいただきました。富田連隊長は「つねに有事のために訓練をしているが、極限の中、現場での判断が要求され、自分の責任で部隊を動かす多くの人の役に立てたことで自衛官としての自分を果たすことができた」と話をされました。

一年を締めくくるモーニングセミナーにふ

さわしく、柴田津與志会長の目標をクリアする53社、57名の参加で開催することができました。



鶴岡市倫理法人会

女性委員長 粕谷きよ子

## クリスマスパーティー開催



12月9日(金) 鶴岡市倫理法人会三役と女性委員会の主催で、クリスマスパーティーをマリカ市民ホールにて開催いたしました。伊藤会長の挨拶、秋山相談役の乾杯で会は始まり、美味しいごちそうをいただきました。今年のアトラクションは、会員の奥様が主宰されている、ニケラベリーダンス様のベリーダンスショーを企画いたしました。素敵な衣装を身に着けた4人のダンサーの華麗なダンスに、会場は魅了されました。そして、ショーの最後には、ベリーダンスのレッスンをしていただき、皆、初めてのベリーダンスに腰を振り振り、会場は大賑わい。また、その他にも、じゃんけん長者ゲー



### 「新春家族パーティー」

長井市倫理法人会 恒例イベントである、家族会は、今年で5年目となりました。昨年は東日本大震災という大変な出来事があり、生きている事の有り難さ、家族や絆の尊さを改



長井市倫理法人会 専任幹事 那須喜美子

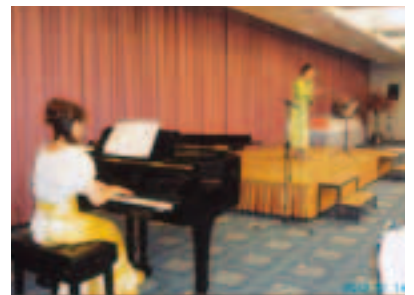
参列、合計40名の方から出席していただき、心から感謝申し上げます。



ム、ケーキゲームなどを楽しみ、お花やプレゼントをいただき大いに盛り上がりました。クライマックスは全員で「上を向いて歩こう」「夢かぎりなく」を熱唱。尾形専任幹事の挨拶で閉会しました。

7組のご夫婦からご

業より提供頂いたプレゼントが当たる大抽選会で大いに盛り上がりました。ゲストはソプラノ歌手伊藤由美さん、ピアノ演奏石井美保子さんと、「白い道」「サライ」等の名曲を熱唱していただき、エンディングは参加家族の皆さま全員と「明日があるさ」の大合唱と、時間を忘れる楽しいひとときでした。すべての原点はやはり家族。パーティー終了後は、家族と二次会へ流れていくメンバーも多く、倫理の学びがジンワリ効いて来た今日この頃でございます。来年も更に楽しい企画でパワーアップして参ります。



めて考えさせられました。今年の新春家族パーティーは、ひとしお感慨深いものとなりました。新年という事で餅つきのパフォーマンスがあり、つきたての餅のふるまいや、会員企業より提供頂いたプレゼントが当たる大抽選



倫理を学んで、早1年と数ヶ月経とうとしています。初めのうちは決して真面目に出席をしていませんでしたが、ある会員の言葉を聞いてから私のモーニングセミナーに対する考え方が変わりました。その一言とは、

### 「従業員に感謝する」

です。私自身、この言葉に出会うまではお客様に感謝することを優先してきました。

助言してくれた方が私に言いたかったことは、会社を繁栄していくにはお客様に感謝するのはもちろん、その前に一番身近な従業員に感謝しなければいけないということです。

現在は、第一に従業員、その家族、お客様、そして倫理法人会の方々に感謝する日々を送っております。

また、「万人幸福の葉」に学び日々精進していきたいと思っております。

## 倫理を学んで



南陽市倫理法人会 副事務長 冨樫 学

### 「ある言葉を聞いて」



山形市中央倫理法人会  
副会長 今田早百合

### 「3ヶ月の実践を始めました」

入会して3ヶ月の倫理経験で、まだまだ分からないことばかりですが、自分なりの実践を少し始めました。

まず第1にモーニングセミナーに出席すること。第2に目覚めたらすぐ起きること。第3に朝一番にその日の「職場の教養」を読むことです。

職場の教養は本当にすぐに役に立つ実践が書かれており、特に「簡単な仕事から片付けていく」ことと「気づいたらすぐする」ということを心がけるようにしています。

簡単なことからしていくと頭も仕事も整理されます。つい面倒な連絡なども後回しにしてしまいがちですが、気づいたらすぐするということを実践すると、その後の段取りがスムーズに行くことも実感しました。

とはいつても布団の中でぐずぐずしていたり、問題を先延ばしにしたい私も相変わらずいます。

本当に身に付くまでは長い時間がかかると思いますが、少しずつ変えていけたらと思っています。



新庄最上倫理法人会  
普及拡大委員長 阿部慎一

### 「いま、思っています」

新庄最上倫理法人会普及拡大委員長の阿部です。拡大ということについての最近の心境を書かせていただきます。

自分自身、拡大という実践をどの程度してきたのか、人に勧める資格があるのだろうかと自問自答しています。

今日は、4時に起きて真室川から少し早めに出てきました。倫理法人会立ち上げの時に多くの人から勧誘を受けましたが、その中の一人が「挨拶の達人になろう」と話をしてくれました。その話を聞いて法人会に入ろうと決意しました。自分も挨拶の達人になろうと。

しかし、法人会に入って125回のMSを経験し、どのくらい自分は変わったのだろうか。変わっていない自分に気づくと同時に、人に勧められる実践をしていないのではないかと。女房や家族や社員に対する挨拶の実践を本気でやっていたのだろうか。

変化しない自分に歯がゆさを感じながら、MSのあり方について、本当に多くの人が参加するMSをつくっていくのが、自分の使命

かと思えてきました。

皆が良くなるという気構えで、MSに望むことが、普及拡大委員長の使命であり、拡大に励むことが実践であることを肝に銘じて、皆さんと共に行動したい。そして、新庄最上の倫理法人会を本当に良くしたい。会社を良くし、地域を良くする活動を通して、日本創生の道を皆さんで盛り上げていきましよう。



酒田市倫理法人会  
相談役 菅原勝安

### 「いま、思っています」

平成10年から倫理法人会へ通っています。「もし私が倫理と出会わなかったら」、会社はすでに倒産してしまっているのではないかと？いつも思います。

なぜか？私は自我が強くて一本気、あちこちで衝突します。毎週倫理道場へ通って反省を繰り返す生活です。気のせい、帰りは素直で謙虚になった自分の姿を感じます。

もう一つの効果は、鈴木会長が「朝の時間は金」と表現されるように、私も早起き効果「てんこ盛り」を実感しています。自分の仕事に順調に進む、朝の閃きが以前に比べ10倍以上、その閃きを具体化し「会社が元気でい

れる」と言っても過言ではありません。  
 家族の幸せと企業の繁栄を願っている私にとつて、倫理実践のない生活は考えられません。これからもどうぞよろしく。



上山市倫理法人会  
 朝礼副委員長 垂石陽治

「倫理は継続が大事」

上山市倫理法人会には立ち上げ当時から参加させていただいております。

講話の先生方の話を聞くと、共通して言われているのが、何かを頼まれた時には「はい」と返事をしてすぐ受け入れること。また、明るく元気な挨拶ができるようになる人、素直であること、誠実であること、嘘はつかない、親を大切にする、好かれる人になる等、今まではわかっていましたが、実践できないうちもありました。

しかし、倫理を学んで実践することで周りも変わっていくし、自分も変わっていくことを学びました。実践ばかりでなく継続することが倫理なんですね。

今年から上山市倫理法人会の朝礼副委員長を拝命致しました。仲間を元氣よくするために頑張ります。

平成24年度 倫理経営講演会のご案内

山形市倫理法人会

日時 平成24年2月13日(月) 17:30~19:30  
 会場 ホテルメトロポリタン山形  
 テーマ 朝に活路あり

山形市蔵王倫理法人会

日時 平成24年3月9日(金) 17:00~19:00  
 会場 パレスグランデール  
 テーマ 朝に活路あり

上山市倫理法人会

日時 平成24年3月22日(木) 18:00~20:00  
 会場 月岡ホテル  
 テーマ 朝に活路あり

天童市倫理法人会

日時 平成24年4月17日(火) 17:30~19:30  
 会場 ほほえみの宿 滝の湯  
 テーマ 朝に活路あり

米沢市倫理法人会

日時 平成24年4月18日(水) 17:30~19:30  
 会場 東京第一ホテル米沢  
 テーマ 朝に活路あり

山形市中央倫理法人会

日時 平成24年4月25日(水) 17:00~19:00  
 会場 山形国際ホテル  
 テーマ 朝に活路あり

寒河江市倫理法人会

日時 平成24年5月17日(木) 17:30~19:30  
 会場 グランデール寒河江  
 テーマ 朝に活路あり

新庄最上倫理法人会

日時 平成24年5月28日(月) 18:30~20:30  
 会場 ザ・リヴィントン  
 テーマ 易不易

南陽市倫理法人会

日時 平成24年6月11日(月) 18:00~20:00  
 会場 熊野神社 證誠殿  
 テーマ 朝に活路あり

鶴岡市倫理法人会

日時 平成24年6月13日(水) 18:30~20:00  
 会場 グランドエルサン  
 テーマ 易不易 **朝礼実演**

長井市倫理法人会

日時 平成24年6月19日(火) 18:30~20:30  
 会場 タスパークホテル  
 テーマ 朝に活路あり

酒田市倫理法人会

日時 平成24年6月26日(火) 18:00~19:30  
 会場 ガーデンパレスみずほ  
 テーマ 朝に活路あり **朝礼実演**

山形県倫理法人会

朝礼委員長 五十嵐慶三



新春のスタートを、法人局からの指令で2泊3日の研修会という形で迎えましたのは、今回が初めてであります。全国10万社を平成29年度に達成するには、果敢な普及活動が展開されるわけですが、ベースは、会友の方々に喜んでいただける倫理法人会組織でありたいものです。

経歴が長いだけでなく、輪を揚げながら、もっとお役に立ちたい。何か相談ごとがあれば遠慮なくお聞きする。仲間としてお迎えしたからには、人の話をよく聞いて差し上げ、倫理実践がスムーズに行えるような場創りを提供する。これで北海道・東北方面の仲間は、「退会会員」の極めて少ない、理想的な会組織となつてまいります。

昨年起こった「東日本大震災」による災害の影響は大きく、今後の復興は全世界の人々が注目しています。天の神様は、M9クラスの大地震が、東日本沖に潜んでいることを気付かせてくれました。大震災で犠牲となられた方々のことを胸に刻み、ここから我々は、地域の会友同士が支えあい、そのパワーを「日本創生」というエネルギーに変換し、頑張ろうではありませんか。



私も新任インストラクターとして、「丸山敏雄先生」を敬仰し、お役目を担ってまいりますので、今後とも皆様方のご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

全国会長・幹事長・普及拡大委員長・女性委員長会



山形県倫理法人会  
女性委員長 菅野美奈子

平成23年11月12日・13日、静岡県熱海後楽園ホテルにおいて平成24年度全国会長・幹事長・普及拡大委員長・女性委員長会が開催されました。

開会式では、オマージュとして東日本大震災の被害の映像が流れ、そして亡くなられた宮城県石川前会長の追悼では、涙をこらえることができませんでした。

目標達成報告は、鈴木会長が退会防止や新単会設立のこと等を力強く語られました。女性委員長の役割別研修では、お二人のSVから、子育て中の女性が参加しにくいMSについて、日中のイベントの方に参加してもらうことや、朝、家を空けることを、話がわかる年齢の子どもならしっかりと説明し、夫にも協力してもらうなどのアドバイスをいただきました。



全国から集まった女性委員長皆さんのパワーあふれる行動、言葉で、心のエネルギー充電をしてみました。このエネルギーは山形県倫理法人会で使いたいと思います。

編集後記

山形県倫理法人会

事務局 鈴木博子

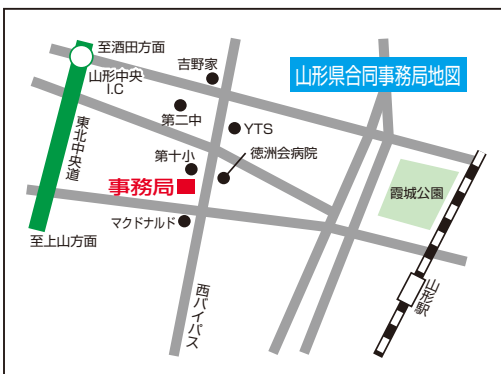
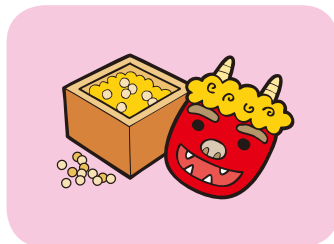
平成24年がスタートしてあっという間に1ヶ月が過ぎてしまいました。

今年度より県事務局体制が少し変わりましたが、モーニングセミナーで皆さまにお会いできなくなりました。

その分、事前の準備はしっかりと!!スムーズに運営ができるように心がけたいと思っております。

事務局員の顔が見たくなったら是非是非、県事務局へお越しください。

今年もどうぞよろしく  
お願い致します。



URL  
<http://www.yamagata-rinri.net/m/>